

Mutsumi

睦眉会会報

発行者

徳島大学睦眉会

徳島大学医学部保健学科同窓会

徳島県徳島市蔵本町3-18-15 〒770-8509

徳島大学医学部保健学科内

TEL/FAX:088-633-9067

E-mail: mutsumi.jim@gmail.com

発行責任者 河田明男

睦眉会の皆様へ

睦眉会の皆様、日ごろは本学の教育研究についてご理解とご支援を賜り、本当にありがとうございます。睦眉会の会員の皆様におかれましては、ますますご活躍のことと存じます。平成25年4月に、学科長を拝命し、現在2期目の半年を迎えました。ご報告と今後のさらなるご協力をお願いし、ご挨拶とさせていただきます。

保健学科・保健科学教育部のミッションは、「医療系3学部5教育部を有する環境において、学部・研究分野の枠を超えた複合的視点を備えた医療人材を育成し、地域医療に貢献できる高度専門職医療人や国際的に活躍できる研究者教育者の育成を推進することです。

国家試験の合格率（H22年～H26年）は、開学以来全国平均に比べて高い水準を維持し（看護師：97.0-100%、保健師：92.5-100%、助産師：100%、診療放射線技師：80.6-97.4%、臨床検査技師：100%）、卒業後就職を希望する学生は、100%就職することができ、全国で活躍しています。保健科学教育部は、9年前に大学院博士前期（修士）課程、7年前に大学院博士後期課程が設置され、今までに158名が修士号（保健学修士79名、看護学修士79名）、15名が保健学博士号を取得しています。

1) 高度専門職医療人の育成と地域医療への貢献

①看護学領域では、2007年からがん看護専門看護師養成科目を開講（高度がんプロ養成基盤プログラム）し、がん看護専門看護師に3名が認定されています。2012年から助産学実践コースを設置し、助産実践力に卓越した人材育成を推進し、18名の学生が修士号を取得しました。2009年から養護教諭専修免許の取得が可能となり、3名が取得し、正規採用教員として就職しています。2015年から脳神経専門



徳島大学医学部保健学科長

徳島大学大学院保健科学教育部長

近藤 和也



看護師の養成科目を開講しています。②医用情報科学領域では、2007年から医学物理士の養成科目を開講（高度がんプロ養成基盤プログラム）し、医学物理士に1名が認定されています。③

医用検査学領域では、胚培養士、超音波検査士取得支援プログラムがあり、胚培養士に3名が、超音波検査士に2名が認定されています。

2015年2月から地域医療人材育成分野（寄付講座）が設置され、四国中央病院と提携し、地域医療に貢献できる看護師を育成しています。

2) 保健学科および保健科学教育部のグローバル化

現在、フロリダ・アトランティック大学（FAU、米国）、テキサス大学ヒューストンヘルスサイエンスセンター（米国）、ヘルシンキメトロポリア応用科学大学（フィンランド）と学術交流協定を締結し、毎年学生が交流しています。2014年、9月にロクシン教授（前FAUの教授）が看護技術学の教授として着任され、学部にinternational nursing basic course（アメリカの看護師免許の取得とアメリカの看護大学への留学のための授業）を作り、現在、4名の学生が勉強をしています。徳島大学内の7つの教育研究クラスターでは、保健教育学部の各分野が共同研究を推進しています。現在、Department of Pharmacology and Toxicology, University of Louisville（米国）、Micro et Nanomédecines Biomimétiques, Université d'Angers（フランス）、MD Anderson Cancer Center（米国）などの海外の施設・大学と共同研究しています。

徳島大学医歯薬研究部の立地条件を生かし、高度専門医療人と研究者を教育し輩出していく決意です。同窓会の皆様には、今後さらに徳島大学医学部保健学科および大学院の将来に関心を寄せていただき、ご支援・ご高配をいただけますようお願いいたします。

変革と発展

国立大学法人・徳島大学は来春、学部新設と改組を迎えます。「生物資源産業学部」が新設され工学部は「理工学部」に、総合科学部は「総合科学部・社会総合学科」へと改組になります。大学改革の一環として社会のニーズに応え得る大学としての一步を踏み出す事となりました。この事象の背景には、少子高齢化に象徴される国家予算の窮乏が見て取れます。資源小国の日本は「少年・青年」の教育に今以上の時間と経費を充てる事が出来なければ、我が国の未来は想定よりも更に暗く希望のない状況となるでしょう。しかし限られた予算による執行と効果を検証した結果、「大学教育」の全体的見直しは不可欠の状況にあると言えます。この方針の下、効果を見込める改革と認められて今回の変革が実現しました。「教育は人に依って成り立つ」と言われます。優れた教育者と優秀な学生と素晴らしい教育環境を担保してこそ、柔軟な発想による画期的な発見が生まれてきます。ノーベル物理学賞に輝く中村修二博士の存在は学生達にとって身近な存在で有り、良い目標と成った事は言うまでもありません。

徳島大学睦眉会会長 河田 明男

徳島大学医学部附属診療放射線技師学校3期生



保健学科の課題は何でしょうか。国家試験を経て資格を得る学部・学科の実績とは数字で確認されます。それは国家試験合格率です。以前も書きましたが「選択・競争」の時代に突入しております。医療技術者をより多く輩出し医療現場・研究施設・産業界・行政、等々で更なる活躍を祈念するのが教育者の喜びでもあります。しかし、ここに厳然とした数字が存在します。現在、一人採用するのに組織が用意する生涯賃金は三億円と言われます。組織として稟議し検討を重ねた結果として採用決定が出ます。内定を得ても国試不合格で就職を棒に振ると、本人はもとより就職先は再募集という労を強いられます。保健学科は三億円の市場を捨てた事になります。俗な言葉ですが「費用対効果」を具体的諸課題で検証し改革の結果を得る事こそが、学科の発展に繋がると思います。

同窓生通信

感染管理認定看護師として日々研鑽

徳島大学医療技術短期大学部看護学科7期生
徳島大学病院

藤原 範子

私は、2014年に感染管理認定看護師の資格を取得し、徳島大学病院の感染制御部で感染対策の専従看護師として働いています。

感染管理認定看護師になったのだから、感染対策に昔から興味があったのだらうと思われる方もいらっしゃるでしょう。実は、どちらかというあまり興味はありませんでした。幅広い知識と技術をもったジェネラリスト看護師を目指していたので、認定看護師に憧れはありましたが、スペシャリストをめざし勉強をするとは夢にも思いませんでした。

私と感染管理の最初の出会いは、卒業後徳島大学病院に就職し、当時の看護部感染対策委員会の副委員になるように上司に勧められた時です。1年目看護師の私は、何もわからないまま手指衛生のチェックや血流感染サーベイランスのデータ収集を行ったことを覚えています。整形外科病棟、集学治療病棟を経験し、次に異動したのはNICUでした。NICUに収容される新生児は感染リスクが高い、と学んだ時に、赤ちゃんを守るためには感染対策が重要だ、と強く感じ、これが感染

管理認定看護師を目指すきっかけとなりました。家族や友人、病院の皆さんに支えられ、三重県立看護大学感染管理認定看護師教育課程で勉強することができました。30人の仲間と出会い、励まし合い過ごした8か月間は本当に有意義で楽しい時間でした。仲間たちには、より一層、感染管理に興味を持たせてくれて、熱い気持ちにさせてくれたことに感謝しています。

徳島大学病院の感染管理を担う看護師として、大きなプレッシャーに押しつぶされそうになりますが、家族や友人、三重の仲間や、職場の皆さんに支えていただいて、病院に関わる人々を感染から守るという使命を果たせるよう日々仕事に励みます。



日々の積み重ね

徳島大学医学部保健学科放射線技術科学専攻8期生
徳島県立中央病院

井河 礼弥

私は徳島大学を卒業した後、診療放射線技師となり徳島県立中央病院に就職して3年目を迎えました。中央病院には数多くのモダリティがあるため、業務上4つの部門に分かれています。その中の一般撮影部門とCT・MRI・DSA部門で1年ずつ経験をつみ、今年は再びCT・MRI・DSA部門で頑張っています。

はじめの頃は何も分からず目の前の仕事にただ必死で、業務をこなすだけで一日が過ぎていました。最近ではある程度業務内容や職場環境にも慣れて、少しずつですが周りが見えるようになってきました。それと同時に自分の分かっていないことや知らないことに気づくようになりました。疑問が増えるとそれを解決するために自ら調べる、または周囲の人に質問することが多くなり、理解をすることで考えながら業務を行えるようになってきました。この「自分で考える」ことによって自然と興味を持つことができ、考えて行った結果がどうだったのかを振り返ることで、自分を成長させるきっかけにもなるため、かなり重要なプロセスであると思っています。

しかし常に頭をフル回転させ続けることは難しいので、一日に数回でも考える時間を見つけ、癖をつけることが大切であると実感しました。そうすることで考える力が身につく、しっかりと判断力や創造力を持つことができます。ただし柔軟な思考力を持つには多くの知識や情報が必要となります。そのためにも専門書を読んだり、講演を聴いたりして学んでいきますが、自身に留めておくためには経験をすることが一番であると思うので、機会がある度に様々なことに挑戦するように心がけています。似たような行動でも、考えながら挑戦することと勝手な思い込みで突っ走ることは全くの別物なので、後者にならないように気をつけながら業務に励んでいきます。

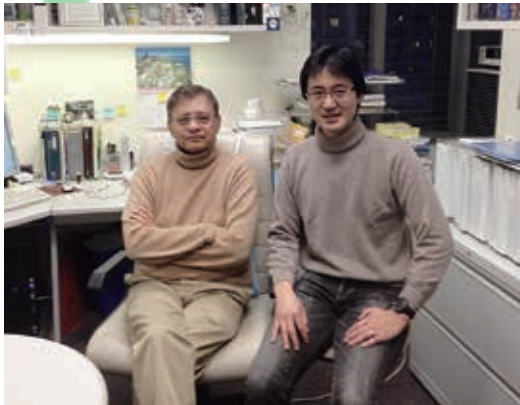
最後になりましたが皆様にはこれまで以上にお世話になると思いますので、今後ともご指導のほど、よろしく申し上げます。



恩師から学んだこと

徳島大学医療技術短期大学部衛生技術学科 8 期生
徳島大学大学院医歯薬学研究所

富永 辰也



「ヤシの木から落ちたら死に頃」。何の講義で、何の脈絡から出てきた話か忘れてしまいましたが、「死に頃」とは…中村観善先生。強烈なインパクトでした。自習時間になるとアコーディオンを抱えて来られ、第九の合唱練習になった日が何回あったことか。やりたいことが沢山ありすぎて、夢に見たアイデアを記録するメモ帳を枕元に置いておっちゃんっていた喜多知子先生。私もアイデア帳を作りました。生理実習室に入ると見たことの無い機械を手作りしていた百瀬圭三先生。新しいものは自分で作るから面白いのですね。達筆すぎて時に黒板の字を板書できなかつた磯部淳一先生。急な提

案にも関わらず保健学科の中庭でBBQをしてくださり、いざという時には大らかに受け止めていただきました。恩師の先生方には大変失礼ながら、大学で学んだことは国試の後に朝霧のように消えてしまいました。こうして心に刻まれている記憶こそが今の自分に大きく影響しているように思います。

現在、母校の徳島大学保健学科で教員をしています。講座の先生方のご支援があり、昨年まで2年間、アメリカで研究生を送りました。糖尿病性腎症について10数年研究していますが、同じ病気を対象にしても「ラボ・国・ボス」が違えば、これ程研究スタンスが変わるものかと肌で感じた「とても長い2年間」でした。行った先のボスには、「Lazy Guy (怠け者)」と詰られ、「You have to work until 2 o'clock morning.」と言われ続けた半年間。めげずにコツコツやって結果を出した半年後、「Tommy」と愛称で呼ばれるようになりました。成果主義なので「役立たずは去れ」ということです。ただ、やることはやって息抜きが上手な欧米流を見習って、休日はミシガン湖で泳ぎ、野外オーケストラ、Blues、Jazzを楽しみました。留学する目的、場所、語学力（これはなんとかなる）、そして何より資金と条件は色々ありますが、行きたいと思う気持ちがあるならば、その火を消さないで欲しいと学生に伝えたい。こうして35歳を超えて留学した自分ですから、そのタイミングがいつやってくるかわかりません。

学生と一緒に研究をしていると、「朝5時起きで波乗りに行ったので眠いです」とか「ライブが近いので練習にいけないといけません」など、とても有意義にプライベートを過ごし研究を両立？する者もいます。そのくらいエネルギーじゃないと研究は続きませんし楽しめないで、自分の時間を大切にするのは良いことです。個性豊かな学生らから学ぶこともあり、活性化させられる毎日を過ごしています。

助産院を開業しました

徳島大学医療技術短期大学部看護学科 3 期生
徳島大学医療技術短期大学部専攻科助産学特別専攻 3 期生

山田 葉子

卒業して早くも20年が過ぎました。

最初は愛知県にて助産師として病院勤務していましたが、その後ワーキングホリデーでニュージーランドに1年行ったことをきっかけに海外旅行に目覚め、様々な国に長期滞在しては日本に出稼ぎに帰るといった生活をしていました。その間、インドで日本語教師をしたり、ペルーでは現地の友人と一緒に日本人相手の宿を始めたり、メキシコでは現地日系企業で事務職として働いたり、と医療とは無関係の時間をたくさん過ごしました。

けれども、10年経ちもう十分だという思いになり、日本に戻って元々やりたかった産後の母乳ケアで独立するために、堤式乳房マッサージ法を1年間学んだ後、2014年7月に地元福岡県北九州市で母乳外来専門助産院『葉っぱ助産院』を開業しました。開院当初は、本当に患者さんが来てくれるのか、経営は成り立つのか、色々不安はありましたが、少しずつ患者さんも増え、まずは1年何とか無事に経過しました。

私がこのように、好き勝手に海外でふらふらできたのも、そして助産院を開業できたのも、全て看護師・助産師という国家資格

があったからであり、それは何も知らない学生に辛抱強く基礎から教えて下さった先生方のお蔭であると、今更ながら感謝しています。

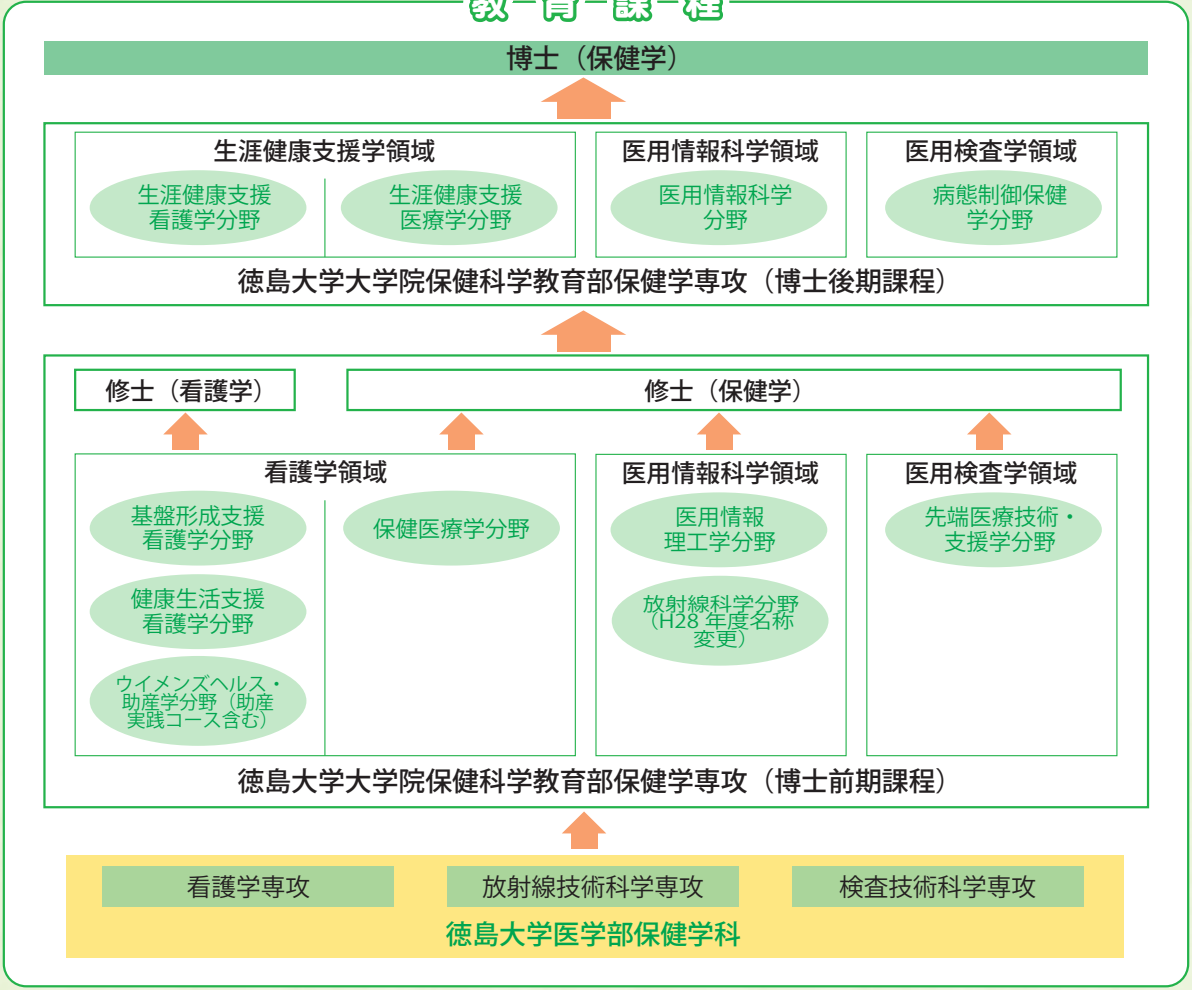
今も徳島へ行くあのワンマン列車と緑の風景を懐かしく思い出します。青春の4年間、のんびり楽しく過ごすことができ、徳島を選んで良かったなあと思います。

葉っぱ助産院ホームページ <http://happajosanin.com/>



大学院 保健科学教育部だより

教 育 課 程



がん患者の自分らしい意思決定を支援する

徳島大学医学部保健学科看護学専攻3期生
徳島大学大学院保健科学教育部博士後期課程在学中 **一宮 由貴**



平成20年に徳島大学医学部保健学科看護学専攻を卒業し、同年4月から徳島大学病院で看護師として働いています。食道乳腺甲状腺・呼吸器・消化器外科病棟に配属となり、日々看護を行う中で患者さんやご家族の喜ぶ顔、ありがとうの言葉に看護師としてやりがいを感じると共に自分の未熟さも痛感し、「患者さんのニーズに応えるために自分に足りないものは何だろう」「自分に何ができるだろう」と考えるようになりました。なかでもがん患者の看護に興味を持ち、専門的な知識と技術を身に付け、様々な視点から総合的に患者さんやご家族を支えられるよう、がん看護専門看護師(CNS)の資格を取得するため平成25年徳島大学大学院保健科学教育部博士前期課程に社会人枠で進学し、昨年修了しました。進学と同時に外科外来に異動し、現在はプレCNSとしてがん患者さんやご家族の意思決定支援を行っていま

す。近年様々な検査や病状告知の場は外来に移行しており、大きなショックを受けた患者さんやご家族の心理的なサポートは看護の重要な課題です。患者さんの悩む過程に寄り添い、そのストレスを軽減するため多職種で支援する体制の構築を目指しています。

また、看護研究を行う中で看護のもつ力を明らかにする必要性を痛感しました。看護にどんな意味があるのか、これまで先輩方が積み重ねてきた看護の経験知を視覚化し、患者さんにも、他職種にも看護の力をアピールしていくことで本当の意味でのチーム医療が実現できるのではないかと考えています。私は本年度より徳島大学大学院保健科学教育部博士後期課程に進学し、乳がん患者の意思決定支援をテーマに研究を続けています。医療の発展は目覚ましく、中でも乳がん治療の進歩は著しいものがあり、治療の選択肢は増えています。その中で患者は自分の治療を自分で決定する主体性が求められるようになり、様々な選択肢を自分の価値観と照らし合わせた選択を迫られるようになりました。医師の説明を補足し、患者の価値観を顕在化するために対話を重ねる看護の力を明らかにし、今後の臨床現場に役立つ支援方法を検討していきたいと考えています。

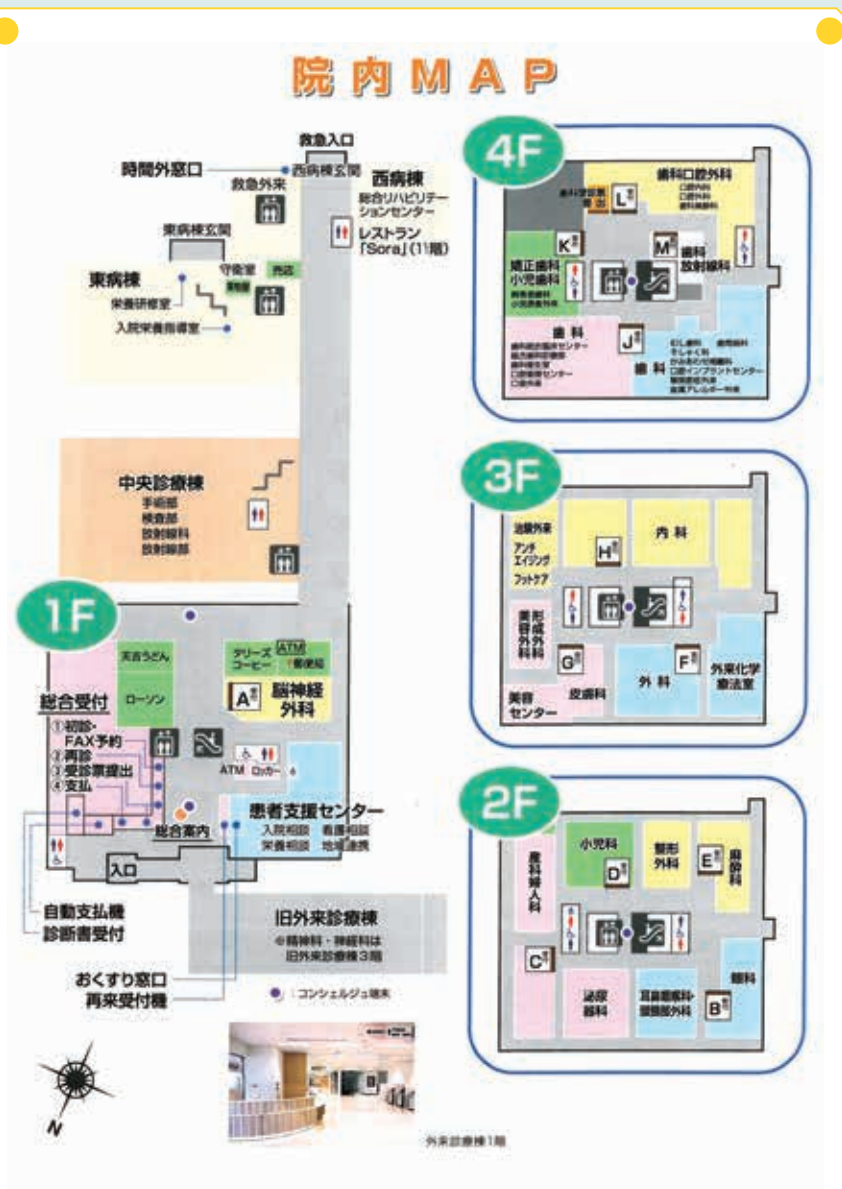
徳島大学病院 新外来診療棟完成

徳島大学病院新外来診療棟が、平成27年9月24日から開院しました。医科外来1階から3階（精神科神経科は工事中）・4階歯科外来が同じ棟になり、また1階のアメニティテラスも広く、診察の待ち時間を有効に過ごすことができます。

開院前の9月11日に各関係者約260名の出席があり、開院記念式典が行われました。



1階：患者支援センター
地域医療連携や看護相談、入退院支援等



1階：アメニティテラス 郵便局、コーヒーショップ、食事、コンビニエンスストア、患者図書

活躍する卒業生



徳島大学ホームページ、同窓会連合会の「ニュースレター」のコーナーに掲載されています。



佐藤 一雄
さとう かずお

徳島大学医学部附属診療放射線技師学校
昭和49年卒業
徳島文理大学保健福祉学部診療放射線学科 教授

昭和49年に徳島大学医学部附属診療放射線技師学校を卒業、同年4月に徳島大学医学部附属病院（現、徳島大学病院）に就職されました。主に核医学検査を専門に活躍され、平成16年には診療放射線技師長として現在の徳島大学病院診療支援部診療放射線技術部門をまとめてこられました。そして、平成17年にはサイクロトロンやPET/CT導入に貢献され、現在の礎を築かれました。

また、副診療支援部長も兼任され、平成21年に退職されるまで35年間にわたり徳島大学病院の診療放射線技術の確立、向上にご尽力されました。

現在は、徳島文理大学教授として核医学検査技術学、放射線安全管理学等を担当し、未来を担う学生の教育に熱心に取り組まれています。



高橋 宗孝
たかはし むねたか

徳島大学医学部附属臨床検査技師学校
昭和56年卒業
三豊総合病院中央検査科技師長
一般社団法人香川県臨床検査技師会会長

昭和56年徳島大学医学部附属臨床検査技師学校を卒業後、三豊総合病院（香川県）に入職。生化学検査、免疫血清検査に従事し、平成2年、四国初のOCR受付システム導入に力を注がれました。また、平成12年頃より輸血業務も兼務され、認定輸血検査技師として輸血業務の一元化に取り組みました。平成21年、中央検査科技師長に就任後は新棟整備事業に伴う中央検査科の移転や効率的な機器導入を行い、現在も精力的に活躍されています。

職団団体としては香川県臨床検査技師会に所属し、昭和61年より平成26年まで精度管理委員、平成16年から平成24年まで免疫血清研究班班長、平成20年より理事、平成24年常務理事（事務局長）、平成26年より代表理事（会長）として「検査と健康展」「検体採取に関わる厚生労働省指定講習会」の開催等にご尽力されています。

平成27年度 徳島大学睦眉会総会報告

平成27年7月9日 (木) 18:30~ 徳島大学医学部第二会議室

* 参加者 23名 (役員会で総会に代える)

総会次第

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 議事
 - (1)平成26年度事業報告
 - (2)役員会報告
 - (3)平成26年度会計報告
 - (4)会計監査報告
4. 議案審議
 - (1)平成27年度予算案、事業計画案について
5. その他
6. 閉会

平成26年度 事業報告

1. 睦眉会主催 新入生歓迎昼食会の開催 平成26年4月6日
2. 徳島大学同窓会連合会 ニュースレター(活躍する卒業生)掲載 平成26年4月、9月
3. 総会・講演会の開催 平成26年7月6日
 ホテルクレメント徳島
 第10回睦眉会主催講演会
 演題 「巨大災害に備えて私たちができること」
 講師 中野 晋 先生
 (徳島大学教授 環境防災研究センター 副センター長)
 参加者 51名 (内 会員 41名)
4. 2014年版 同窓会会員名簿発行 平成26年8月1日
5. 徳島大学同窓会連合会交流会「びざん会」への出席(会長 他3名) 平成26年10月30日
6. 徳島大学同窓会連合会交流会「関東びざん会(東京)」への出席(会長) 平成26年12月7日
7. 睦眉会会報(第14号)の発行 平成26年12月17日
8. 卒業式・医学部各賞授与式・謝恩会出席(会長他) 平成27年3月23日
9. 卒業・修了記念品の贈呈 平成27年3月23日

役員会報告

1. 役員会開催状況 (平成26年4月~27年7月)

年度	回数	開催日	場所	参加人数
H. 26	1回	平成26年5月21日 (水)	医学部第二会議室	19名
	2回	平成26年6月17日 (火)	医学部第四会議室	19名
		総会開催 平成26年7月6日 (日)	ホテルクレメント徳島	41名 (会員)
	3回	平成26年8月28日 (木)	医学部第二会議室	20名
H. 27	1回	平成27年3月17日 (火)	医学部第二会議室	19名
		総会開催(役員会) 平成27年7月9日 (木)	医学部第二会議室	21名

2. 各種委員会開催状況

委員会名	開催日	場所	参加人数
会報委員会	平成26年9月5日 (金)	医学部第二会議室	8名
	平成26年10月3日 (金)	医学部第二会議室	10名
	平成26年10月31日 (金)	医学部第二会議室	8名
	平成26年11月13日 (木)	睦眉会事務室	3名
学術・名簿委員会	平成26年6月11日 (水)	睦眉会事務室	4名
ホームページ委員会	随時		4名

3. 役員会・委員会における主な協議事項

- 1) 睦眉会総会・講演会について
- 2) 睦眉会役員改選について
- 3) 睦眉会会員名簿発行について
- 4) 睦眉会会報の発行について
- 5) 睦眉会の役員の委員会活動について
- 6) 徳島大学同窓会連合会への協力について
- 7) ホームページの運用について
- 8) 新入生歓迎昼食会開催について
- 9) 卒業・修了記念品について

平成26年度 睦眉会会計報告 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

【収入の部】

項 目	金 額
本部会費 (149名分)	2,980,000
貯金利息	2,346
繰越金	6,369,914
収入合計	9,352,260

【支出の部】

項 目	金 額
総会・講演会費用	290,113
印刷費・送料 (会報代を含む)	1,357,318
同窓会名簿買い取り：学生進呈分	2,570,000
会議費	377,207
慶弔費 (入学卒業記念品, 退職教員記念品代を含む)	545,316
雑費	20,607
会報委員会活動費用	43,254
事務局運営費	200,000
予備費	3,948,445
支出合計	9,352,260

【収支決算の部】

総収入額	総支出額	次年度繰越額
9,352,260	5,403,815	3,948,445

平成27年3月31日 会計 竹林桂子

会計監査報告

平成26年度の会計報告書を監査いたしました。

会計処理は適正に、正確に処理されていることを証明いたします。

平成27年 7月9日

監事 後藤美弥子

手塚 健一

* 以上の報告事項は、すべて承認されました。

平成27年度 睦眉会予算 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

【収入の部】

項 目	金 額
本部会費 (144名分)	2,880,000
貯金利息	500
前年度繰越金	3,948,445
収入合計	6,828,945

【支出の部】

項 目	金 額
総会費用	30,000
印刷費・送料 (会報代を含む)	1,200,000
会議費	400,000
慶弔費 (入学卒業記念品, 退職教員記念品代を含む)	700,000
雑費	50,000
会報委員会活動費用	50,000
事務局運営費	200,000
予備費	4,198,945
支出合計	6,828,945

* 予算案は、提案通り可決されました。

平成27年度 事業計画

1. 新入生歓迎昼食会の開催 平成27年4月6日
2. 徳島大学同窓会連合会 ニュースレター (活躍する卒業生)掲載 . . . 平成27年4月、9月
3. 総会(役員会で代える)の開催 平成27年7月9日
4. 徳島大学同窓会連合会交流会「びざん会」への出席(会長 他) 平成27年10月22日
5. 徳島大学同窓会連合会交流会「近畿びざん会」への出席(会長 他) . . . 平成27年11月15日
6. 睦眉会会報の発行 平成27年12月頃
7. 卒業式・医学部各賞授与式出席(会長他) 平成28年3月23日
8. 卒業・修了記念品の贈呈 平成28年3月23日

* 事業計画案は、提案通り可決されました。

平成27年度 徳島大学睦眉会新役員

(2015年7月9日～)

役職	氏名	所属	勤務先	
名誉会長	近藤 和也	学科長	徳島大学医学部保健学科長 (徳島大学大学院医歯薬学研究部長)	
会長	河田 明男	放	三船病院	
副会長	岩佐 京子	看	徳島大学病院	
	川田 直伸	放	徳島大学病院	
	江原 隆	検	徳島市民病院	
	杉原 治美	助	徳島大学病院	
理事	事務局	梅野 真由美	検	
		市原 多香子	看	徳島大学大学院医歯薬学研究部
	会計	竹林 桂子	助	徳島大学大学院医歯薬学研究部
	総務	桑村 由美	看	徳島大学大学院医歯薬学研究部
		富永 正英	放	徳島大学大学院医歯薬学研究部
		富永 辰也	検	徳島大学大学院医歯薬学研究部
理事	看	葉久 真理	助	徳島大学大学院医歯薬学研究部
		加根 千賀子	看	徳島大学病院
		真鍋 理絵		徳島大学病院
		米田 好美		徳島市民病院
		東條 幸美		徳島大学病院
	飯藤 大和	徳島大学大学院医歯薬学研究部		
	放	天野 雅史	放	徳島大学病院
		山田 健二		徳島大学病院
		山岡 哲也		徳島県立中央病院
		安藝 健作		徳島大学大学院医歯薬学研究部
	検	笹川 知位子	検	徳島県立中央病院
		佐藤 雅美		徳島大学病院
		岡本 充栄		徳島大学病院
		中道 玲子		
助	上田 美香	助	徳島大学病院	
監事	後藤 美弥子	看		
	手塚 健一	検		

徳島大学助産師教育

創設60周年記念式典・記念祝賀会開催予定

徳島大学での助産師教育は、次々年度(平成29年度)に創設60周年を迎えることとなりました。今年度(平成27年度)より準備委員会を立ち上げ、記念式典及び記念祝賀会の開催に向け、準備・企画を進めております。同窓生の皆様のご賛同とご参集をお願いし、ご案内させていただきます。

● 徳島大学助産師教育創設60周年記念式典・記念祝賀会開催予定日：平成29年10月7日(土)

徳島大学大学院医歯薬学研究部助産学分野 教授 葉久真理
 メールアドレス haku@medsci.tokushima-u.ac.jp

徳島大学助産師教育創設60周年記念式典・記念祝賀会 実行委員長 竹内美恵子
 メールアドレス super-ad@tokushima-u.ac.jp

徳大ニュース

徳島大学に関するニュースをお届けします。詳細は徳大広報並びに本学ホームページを御覧ください。
また、会員の皆様の御意見や御要望をお寄せください。

徳島大学総務部総務課 (Tel:088-656-7021 Fax:088-656-7012)
E-mail: kohokakaricho@tokushima-u.ac.jp URL: <http://www.tokushima-u.ac.jp/>



I 学内の状況

1 中村修二教授（カリフォルニア大学サンタバーバラ校）がノーベル物理学賞を受賞

平成26年10月7日、中村修二教授（カリフォルニア大学サンタバーバラ校）がノーベル物理学賞を受賞されました。

中村教授は徳島大学工学部の卒業生（学部：昭和52年卒業、修士：昭和54年修了）で、青色発光ダイオードの研究は本学工学研究科の博士論文となっており、中村教授のノーベル物理学賞受賞は徳島大学にとっても大きな名誉であり喜びであります。この業績は、照明の分野はもとより、ディスプレイへの応用、次世代の高精細DVDの開発、医用装置開発などにも多大な貢献をし、光電子工学を始め、広範囲にわたり画期的な技術革新をもたらすものであり、この度のノーベル物理学賞受賞で改めてその研究が世界の人々へ恩恵を与えるものであることが示されたものです。

また、11月3日には文化勲章を受章され、11月4日には文化功労者として顕彰されました。

平成27年2月6日には中村教授が来学され、ノーベル賞の賞金の一部を本学にご寄附くださり、寄附目録贈呈式が行われるとともに、徳島大学栄誉賞授与式を行い、香川学長から中村教授に賞状を授与しました。

中村教授から、「母校から栄誉賞をいただき、うれしく光栄です」とのコメントをいただきました。

2 本学卒業生の田中啓二所長（東京都医学総合研究所）が文化功労者として顕彰

平成26年11月4日、本学卒業生の田中啓二所長（公益財団法人東京都医学総合研究所）が文化功労者として顕彰されました。

田中所長は徳島大学医学部栄養学科を昭和47年に卒業、昭和49年に大学院修士課程を修了後、昭和51年より徳島大学医学部附属酵素研究施設助手として勤務され、平成7年に徳島大学酵素科学研究センター助教授に昇任、平成8年に東京都医学研究機構東京臨床医学総合研究所分子腫瘍学研究部門部長として転出されました。

タンパク質分解系の研究を包括的に進め、分子免疫学の発展に大きく貢献された業績が高く評価されました。

平成27年2月10日には、文化功労者顕彰を記念し、本学において特別記念講演を行いました。

3 徳島大学病院 新外来診療棟開院記念式典を挙

平成27年9月11日、徳島大学病院は新外来診療棟開院記念式典を挙りました。

徳島大学では、平成15年に医学部附属病院と歯学部附属病院が統合されましたが、これまで医科・歯科診療部門は別々の建物にありました。新外来診療棟の完成により、大学病院の医科・歯科診療部門が一体となったことで、今後より一層の連携強化が期待されます。

新外来診療棟は9月24日に開院し、外来診療を開始しました。

II 学生関係

1 入学式

平成27年4月6日、アスティとくしまで平成27年度入学式を挙行し、合計1,965名（学部1,326名、大学院修士（博士前期）課程488名、大学院博士（博士後期）課程106名、3年次編入学45名）の入学が許可されました。

入学式では、入学生を代表し、歯学部の柴垣あかりさんから「本学の教育方針に従って学則をまもり、学術の研究と人格の陶冶に努めることを誓います」と宣誓があり、引き続き、在学生を代表して、総合科学部武知実波さんから「今すべきことをしっかりと考えながら、日々を大切に、そして挑戦することを忘れず過ごしてください」と歓迎の言葉がありました。その後、香川学長から「問題の本質を見極めることができるよう教養を会得され、自分を見失うことなく有意義で楽しい学生生活を過ごされることを願っています」とのお祝いの言葉がありました。

2 医学部サッカー部が、第95回天皇杯全日本選手権大会へ出場

平成27年8月2日に行われた第20回徳島県サッカー選手権大会決勝戦で、徳島大学医学部サッカー部は、イエローモンキーズを2対0で下し、第95回天皇杯全日本選手権への出場権を獲得しました。

医学部サッカー部は、昨年行われた全日本医科学生大会王座決定戦で初優勝し、医学部日本一となることができました。

編集後記

今年度から会報委員となりました。会員の皆様のご活躍を、いち早く目にするができることを非常に楽しみにしております。

近年、いろいろな場面でグローバル化という言葉を目にします。私自身、そこまで考えていませんでしたが、昨年度、私の上司にロクシン教



フロリダにて

授がご着任されました。それからは保健学科内でも英語で講義が行われる機会が増えています。また、ロクシン教授と共に様々な国際学会に参加するようになり、異文化に触れる機会が多くなっております。新しい見聞が広まることは楽しい一方で、ふと日本について振り返ってみると、人に対して親切で本当に良い国だと実感することも多いです。

これからも、会員の皆様から寄せられる情報に耳を傾け、物事を様々な角度から見たり感じたりして、楽しみを見いだしたいと思っています。

睦眉会理事 飯藤 大和